

白鳥

第168号

全国低肺機能者グループ
東北白鳥会

〒980-0022
仙台市青葉区五橋2-12-2
仙台市福祉プラザ8F



表紙の写真は岡田功氏の作品です

東北白鳥会は、左記の項目の実施を切に
要望します。

- ・内部障害者等級の見直しと福祉制度の向上
- ・肺移植の助成と医療費の保険適用
- ・保健所の呼吸器教室を制度化し全国実施
- ・訪問診療、看護、介護の充実とリハビリ指導
- ・呼吸療法士資格の設置と知識の普及
- ・禁煙普及・公共機関等の無煙化
- ・呼吸器科医師の増員と熟練医師の再任制
- ・通院サポート制度の確立
- ・低肺ホームの設置
- ・バルスオキシメーターの貸与
- ・呼吸不全者の三級医療費助成

地域の皆様のご理解とご支援により、
一日も早い施策の実現を懇望致します。

目次

新年のご挨拶	14
会員便り	17
宮城県呼吸器機能障害者訓練事業	19
無年金障害者救済法が成立	20
ノロウイルス	20
風邪の薬に注意	23
大泉会長からの手紙	25
障害者生活支援センターについてお知らせ	26
斉藤陽子さん、アメリカで肝臓の移植	27
日本呼吸器疾患患者団体連合会	28
アンケート調査にご協力下さい	29
卸町、東北白鳥会支援会からの賛助金	30
低肺救済チャリティ、花柳雅好舞そめ	33
ボランティアの松尾さん日本画展に出品	35
NHK黒岩史成さん来仙	36
編集後記	36

新年を迎えて

東北白鳥会 会長 渋谷 章



皆様、新年あけましておめでとうございます。皆さんとともに、白鳥会も新しい年を迎えることが出来ました。お喜び申し上げます。十有余年前、よちよち歩きの白鳥会が、前村上会長の病をおしての活動により、ようやく、光が見えつつあります。

我々が、今日まで、杖とも柱とも頼っていた呼吸器関係医師団が、立ち上がってくれました。本気になって実態調査に乗り出してくれました。我々の低肺患者は、外見に障害が見えにくいため、障害等級が過少評価されておるのが実情であります。それに反して、生活の対応が年々厳しくなっていることもご承知の通りであります。

これらの実体は、政府を始め、専門の医師団ですら、明らかではありませんでした。従ってこれらの実体について、専門の医師団とともに、全国の患者すべてが協力して実態調査に踏み出したのです。これは非常に画期的なことで、実体が明らかになることで、学会はもとより、各方面に大きな衝撃を与えることでしよう。この実態調査は、是非とも成功させなければなりません。単なる学会員の研究発表に終わらせてはなりません。

政府を動かす、社会に実態を示して、多くの声にならない声で叫んでいる友人たちを是非とも助けていかなければなりません。また、今日まで息の長い年月を、必死に頑張っている低肺者のためにと多くのお医者さんたちが、そして毎年毎年、ご支援金や、チャリティコンサート、踊りの会などで絶え間ないご援助を戴いている方々に報いるためにも明るい明日を目指していかなければなりません。

昨年も多く、の暗い話題が数多く報じられてきましたが、一つでも多くの明るい話題がもたされることを今年に期待をして新年のご挨拶といたします。

これからますます寒さが増してくる季節になって参りますので、一層お身体にご留意されお過ごしされますことをお祈りいたします。今年も頑張つて参りましょう。

新年年頭のご挨拶

宮城県知事 浅野史郎



明けましておめでとうございます。皆様には、夢と希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

「東北白鳥会」の活発な活動に對しまして、改めて感謝と敬意を表するものであります。

さて、昨年は、貴会におかれましては、村上きみ子前会長の逝去という悲しみの一年であったかと思われます。前会長のこれまでの尽力に對し、深く敬意と感謝を申し上げます。今年には、渋谷新会長の下、更なる貴会の發展に御期待申し上げます。

昨年は、アテネオリンピックやパラリンピックで地元「みやぎ」の選手が大活躍し、県民に大きな夢と感動を与えてくれました。さらに、宮城県を本拠とする二十八年ぶりのプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」が誕生し、これからの宮城に大きな夢と希望を与えてくれるものと期待しております。

また、障害者福祉においては、「日本一の福祉先進県づくり」を県政の大きな柱として揚げ、「どんなに重い障害があつても地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」の実現に向けて各種施策を今後とも積極的に推進してまいりますので、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の御健康と今後ますますの御活躍を心から祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

新年年頭のご挨拶



仙 台 市 長
藤 井
黎

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい希望に満ちた初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東北白鳥会におかれましては、村上きみ子前会長のご遺志を継がれ、会員の連携を一層深められるとともに、低肺機能の方々の福祉向上のため、多大な貢献をされておりますことに、改めて敬意を表するところでございます。本年も、東北白鳥会の活動が低肺機能の方々の支えとなっていくことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、仙台市障害者保健福祉計画に基づき、すべての障害者が、自己選択、自己決定により、住み慣れた地域で自分が望む生活を送ることができるよう、社会全体で支える仕組みづくりに向け、様々な施策を行っているところでございます。本年も障害者福祉のより一層の推進を図ってまいりる所存でございますので、昨年同様、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、東北白鳥会の今後ますますのご発展と、会員皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年にあたり

宮城県医師会 会長 師 研 也

新年にあたり、東北白鳥会の皆様にご心からお慶び申し上げます。今年も健やかに過ごしていただきますことを心から念じています。

昨年は長年の間御会の先頭に立ち、苦しい呼吸に耐えながらも会のために献身的活動を続けてこられた村上きみ子前会長がご逝去になり、皆様は支えをなくされどんなにか心細い思いをなさったことかと推察いたします。しかし今年には渋谷章新会長のもと、一致団結して、より一層強い足取りで活動を続けるとの決意をお聞きし安堵しています。会員の声を政界に、行政にどんとお届けになりながら、より一層会員の皆様の快適な生活を保全されることを私たちも願っています。

さて今、国は七〇〇兆円をこす財政赤字をかかえ、小子高齢化の進行する人的構成を背景に医療・福祉への予算配分はますます、きびしさを強めてきています。昨年は「混合診療」の全面解禁が規制改革・民間開放推進会議から提案され、内閣府はこれを取り上げ、年内解決を明言されたことにより、全国の医師会は「国民皆保険制度」の崩壊につながりかねない問題として、関係諸団体のご賛同のもとに国民運動を展開しました。幸にも昨年末にはこれを見送ることで決着をみましたので、ほっとして年を越した処です。しかし「骨太方針二〇〇五」にも明言する様に聖域なき構造改革は今年もその勢いを強めてゆくものと予想されますので、社会保障の充実への道はきびしいものと思っております。

国家の安全、国民の安全のための社会保障の充実が最大の近代国家の課題です。その意味において医療・保健・福祉のより一層の充実を求めて、私たちは国家財政面は別としてもできる限りの国民への医療提供体制の充実をめざして努力して参る覚悟をしています。

そのためには、医療を受ける側の方々の強い要望、又期待の強さがその原動力となりますので、皆さんと共に努力して参りたいと思えます。

今年も皆様方には健やかに、幸せな日々を送られますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

仙台市医師会 会長 千田 典男



新年明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年が東北白鳥会にとって素晴らしい一年となるようご祈念いたします。

また、さまざまな活動を続けられてこられたことを心より敬意を表し、今後も前進されますことを願っております。

昨年を振り返ってみますと、アテネオリンピックでの輝かしい選手団の活躍、宮城球場を本拠地とした新野球団の参入など明るい話題もあり、また、新潟県を襲った集中豪雨や中越地震、そして二十一年ぶりの浅間山の噴火、スマトラ沖地震など暗い話題も多い年でありました。

我々の医療界では国の混合診療解禁表明より、各医師会や関係団体は国民が安心できる医療制度が確約できるよう、一致団結して努力しておる所存でございます。本年も皆さま方のご理解・ご協力を頂きながら事業の推進を計って参りたいと存じます。今年が明るい話題でいっぱいになるような年になることを念じ、また東北白鳥会のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げ、挨拶といたします。

新年のご挨拶

国土交通大臣政務官
衆議院議員 中野正志

あけましておめでとうございます。

ご家族おそろいで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、東北白鳥会皆様方の温かいご支援を賜りましたことに心より感謝申しあげます。

故村上きみ子様から頂戴しましたご意志をこれからも政治家として万難を排し、解決してまいります。渋谷会長を中心に村上前会長の意思を受け継いで、東北白鳥会が発展されますことをお祈り申し上げますとともに障害者福祉向上のため皆さまとご一緒に頑張りましょう！

私も会員皆さまのご友情にお応えするためにも、微力ながらお手伝いをさせていただきますので、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会員皆さまのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

衆議院議員 伊藤 信太郎

皆様は元気で新しい年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

昨年のご存知のとおり台風・豪雨そして地震と災の多い年でした。その中で皆様方は病と闘いながらの生活でそのご労苦に敬意を表します。

前会長故村上様の生前における献身的な救済活動により「呼吸器疾患患者団体連合会」が結成され一

夙の望みを得ましたが医療関係福祉の充実に程遠い感があります。皆様におかれましては、故村上様の遺志を受け継ぎ一致団結のもと皆様方が安心して暮らせる医療環境づくりのためご活躍されますよう私も国政の場において皆様方とともに医療福祉充実のため努力して参りますことをお誓い申し上げます。

衆議院議員 西村 明 宏

新年明けましておめでとうございます。

渋谷章会長様をはじめ皆様には穏やかで、希望に満ちたお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

去年は村上きみ子前会長様のご逝去という悲しい出来事があり、また、災害により多くの方々犠牲になられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

私としましても、皆様からの負託をしっかりと受けとめ、安全で安心な生活の確保、社会福祉の推進に積極的に取り組んでまいる所存です。

白鳥会の皆様が永い期間にわたり、福祉の向上発展のため、ご努力を続けられ、実を結びつつあることに、深く敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご活躍と、ご健勝をお祈り申し上げます。年頭の挨拶と致します。

参議院議員・医師 桜井 充

昨年は村上きみ子前会長がお亡くなりになるという、本当に悲しい出来事がありました。

私たちは、一致団結して、この悲しみを乗り越えていかなければなりません。それが、村上前会長に

対しての、何よりのご供養になるとも思うからです。

私も国会で、超党派の国会議員で作る、「呼吸器障害者を支援する会（仮称）」を立ち上げることにしております。この会の目的は、村上前会長はじめ皆さんの懸案事項であつた、呼吸器障害者二級の制定や、呼吸器疾患患者さんのリハビリ施設の建設等、呼吸器障害者の皆さんが抱えている問題を解決して行こうとする会です。

微力ではありますが、私も医師として、そして国会議員として、渋谷章新会長はじめ会員の皆さんが安心して生活が送れるように、これからも頑張つて行きたいと考えております。

宮城県議会議員 菊地文博

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、渋谷会長を中心に会員相互の連携を深められ、村上前会長のご遺志を引き継ぐべく呼吸器障害についての理解、障害者福祉の向上のため幅広い活動を展開されておりますことに心より敬意を表したく存じます。

私も皆様のご要望が一日でも早く実現され、安心して日常生活が送れますよう皆様とともに活動を続けて参りたいと思ひます。

会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

宮城県議会議員 中沢幸男

あけましておめでとうございます。

長年に亘り皆さんから要望がありましたバルスオキシメーターの貸し出し制度が実現した昨年、村上きみ子前会長の悲しい事があり誠に残念でしたが、どうぞこの一年は渋谷章会長の下、これらを活用しながら一致団結力を合わせ頑張ってください。

宮城県議会議員 藤原 範典

東北白鳥会五年目の新春にあたりお祝いを申し上げます。

昨年は、村上きみ子前会長が逝去され悲しい年となりましたが、会員の皆様の「前向きに生きる」という力強い意志に支えられ、活動が継続されていることに心から敬意を表します。

身障者福祉の充実へ向け、微力ながら尽力させていただきます。「石川啄木の歌」に「何となく今年はいいことあるごとし 元日の朝晴れて風なし」とあります。皆様の今年一年のご多幸を祈念申し上げます。

仙台市議会議員 熊谷 善夫

東北白鳥会会員の皆様には新年を新しい希望と共に迎えのことと存じます。

私は、今日まで皆様の白鳥会と長い年月にわたりお付き合いを頂いてまいりましたが、昨年、前会長村上きみ子さんのご逝去があり大きな悲しい思いをいたしました。村上さんのご尽力、ご功績は皆様にとりまして、また、私にとりましても決して忘れることのないものと存じます。

私は、仙台市議会にあって白鳥会の願い、運動の目標に応えたいと思ひ活動してまいりました。多くの課題を抱える行政にあって皆様の要望の実現も成果が少ない現状です。しかし、一步一步前進し

たいと思っております。

皆様の白鳥会は、渋谷章新会長さんを先頭に新しい歩みを始められました。患者の皆様が共助の心でこの会の運動をさらに発展させ、豊かな今後を築き上げていかれますことをご期待申し上げますと共に私もさらに努力いたしてまいります。

皆様のご健勝をお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

特別ご寄稿

「二〇〇五年新年のご挨拶」

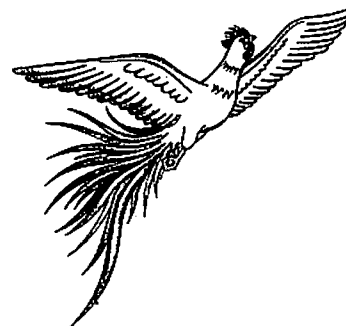
日本学術会議 会員
東北厚生年金病院 院長 藤村重文

新年あけましておめでとうございます。

二〇〇五年が白鳥会の皆様にとって価値ある年となりますようお祈りいたします。

昨年は年頭に当たり、わが国の喫煙問題と関係学会等による禁煙宣言についてお話いたしました。その後一年間さらに考えてみますと、低肺機能については喫煙習慣と喫煙に関する疾患からの脱却・開放が最大の課題であり、そのための社会運動が重要であることが改めて痛感されました。

喫煙習慣が人体に有害なことは言うまでもありません。例えば二〇〇二年十二月に出された厚生科学審議会の意見具申では「喫煙に関する疾患の存在は明らかで、喫煙には依存性があることが確率し



た科学的知見になっている。受動喫煙についても、喫煙していない他者への健康への悪影響を及ぼす。わが国の喫煙率は先進国のなかでも極めて高く、さらに未成年者喫煙率も過去と比べて依然として高い。喫煙による医療費、労働力などへの悪影響が明らかであるという研究報告がある。」などとなっています。二〇〇二年度から開始されている二十一世紀の国民健康づくり運動「健康日本二十一」においても、たばこが重点課題の一つとして取り上げられています。二〇〇三年五月から施行された健康増進法では、公共の場所や多くの職場やレストランなど、多数の人々が利用する施設や場所では受動喫煙を防止する処置を講ずるよう努めなければならぬことが規定されています。さらに近年わが国においては関係学協会等による禁煙活動も盛んで、内外の関係学会による禁煙宣言がなされたのは前にも述べたとおりです。

喫煙者、非喫煙者はいずれも加齢とともに肺の弾性が低下しますが、低肺機能の大きな原因である慢性閉塞性疾患（COPD）では特にその低下が著しく、一秒量が予測のその三〇パーセント以下になると労作時呼吸困難が明らかになります。COPDは進行性疾患ですが、一方では病気が早期にとどまっているものでは禁煙によりその後の病氣進行を抑制できる可能性が高いのです。COPDは、特に高齢者の呼吸機能障害の最も今日的原因のひとつであり、かつその社会への復活を著しく妨げている普遍かつ重大な呼吸器疾患のひとつであります。

二〇〇五年の年頭に当たり、白鳥会の皆様とともに、喫煙の害と禁煙の社会環境についての広報を一層進め、さらに、現在そのために苦しんでおられる方々のために出来ることを真剣に考え、邁進したいと思えます。

東北大学加齢医学研究所呼吸器再建研究分野 教授 近藤 丘

平成十七年の年頭にあたり、東北白鳥会の皆様にご挨拶を申し上げます。

平成十六年は東北白鳥会にとり、前会長の村上さんを亡くされるという一大事の年でありました。村上さんが体調を崩されてから最期を迎えられるまで、力及ばずながらも時に相談にのらせていただきましたが、お話をするたびに彼女の頭の中がそれこそ東北白鳥会のことばかりであること痛感致しました。さぞかし気掛かりを残したまま旅立たれたことてなかるうかと思う次第です。そのような村上さんの心配を払拭すべく、平成十七年が東北白鳥会にとり大きく前進する年となりますよう祈念する次第です。昨今は〇〇改革という金科玉条のお題目のもと、弱きものを切り捨てる政策がともすれば大手を振ってまかり通ってしまっておりまます。弱きものに対する暖かな社会の実現のため、東北白鳥会のような組織がますます奮起していかなくてはならない年ではないかと思ひます。

平成十七年の力強い活動を祈念致します。

東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍研究分野 助教授 渡辺 彰

新年明けましておめでとうございませす。白鳥会の皆様には今年も良い年でありますようお祈り申し上げます。

皆様には昨年、村上きみ子前会長ご逝去の報に愕然とされたものと思ひます。殆ど何もないうところから低肺機能の方々への医療補助・福祉の充実をリードしてこられた村上前会長の業績は賛辞に余りあるものがございますが、渋谷 章新会長のもと新たな第一歩を踏み出されましたことは村上前会長のご遺志をさらに発展させるものであり、頑張っていたのだと思ひます。

一方昨年は、私も会員である日本呼吸器学会が主催した第一回患者円卓会議において皆様の念願であった「日本呼吸器疾患患者団体連合会」が結成され、また、仙台市においてはパルスオキシメータの給付が決定されるなど、総り多い一年でもあったと思ひます。誠におめでとうございませす。

皆様にはこの麗しき新年を迎えられ、ますますご発展されることをお祈り申し上げますと共に、私

ども医療従事者が少しでもお役に立つことが出来れば、と思っております。今後ともどうぞよろしく
 お願い申し上げます。

仙台循環器病センター―呼吸器科
 岡山道子

新年あけましておめでとうございます。

東北白鳥会の皆様にとり、今年が良い年でありますように心からお祈り申し上げます。

昨年は、前会長村上きみ子様逝去され、痛恨の極みでしたが、会員の皆様が力を合わせ、村上前
 会長の意志を引き継ぎ、発展されることを切望いたします。

今年も暖冬のようなようですが、インフルエンザがぼつぼつ流行しはじめています。予防接種を受けた方
 でもかかることがありますので、急な発熱や全身の関節痛、筋肉痛が出現した時は、出来るだけ早期
 に（発症後二日以内に）医療機関を受診し、診察を受けて下さい。インフルエンザに有効な薬を処方
 してもらえます。

また、最近肺炎球菌ワクチンによる肺炎球菌性肺炎の予防が注目され、予防接種を受ける方が増え
 てきています。五年間有効とされています。肺炎が心配な方は予防接種をお勧めします。ただし自費
 七千円ほどかかります。

今期も栄養、安静、充分な休養に留意し、風邪をこじらせないよう注意しながら、適切に酸素を吸
 い、腹式呼吸などの呼吸リハビリを継続し、冬を乗り切り、春をお迎え下さい。

皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。